

地域ごとのまちづくり計画

(長尾地区まちづくり協議会)



【夏まつり】
工作教室

【夏まつり】
スーパー ボール すくい



2020年3月策定

【目 次】

はじめに	2
現状と課題	3
地域の将来像	3
基本目標	3
具体的な取り組み	
1. 自然・環境	4
2. 産業・歴史	4
3. 福祉・健康	5
4. 青少年・人権	5
5. 防災・防犯	6
資料編	
(1) アンケート概要	7
(2) アンケートの主な意見	8
(3) 部会・委員会での主な意見	11
(4) 会議の記録	13
(5) 委員名簿	14
あとがき	15



【はじめに】

長尾地区は、田園地帯の中に郊外住宅地として市街地が形成されて発展した、自然環境や交通条件に恵まれたまちです。阪急山本駅から宝塚駅の北側あたりは、西国三十三ヵ所巡りの巡礼街道として賑わった道筋で、今もその面影を残しています。また、1000年の歴史を持つと言われる植木産業は、接ぎ木の技術に長じた坂上善太夫頼泰公が、豊臣秀吉から「木接太夫」（きつぎだゆう）の称号を受けたことから、いっそう発展し、栄えてきました。

長尾地区には、旧長尾村時代からの長い歴史を持つ長尾小学校がありますが、人口増加に伴って長尾南小学校、丸橋小学校も創設されました。この広い地区でまちづくりを進めるため、活動しているのが、長尾地区まちづくり協議会です。



【中山寺】

【木接太夫の石碑】



平成16年のまちづくり計画を見直すにあたり、はじめに、まちづくり協議会役員や部会関係者48人で計画の進捗チェックを行い、意見交換を行いました。そして、まちづくり協議会の役員が中心となって計画見直しを進めることになりました。

まず、住民アンケートを実施しました。ふだんまちづくり協議会に関わっていない多くの人の意見を聞くために、各種団体や組織及び個人に呼びかけ、10代から80代までの老若男女、73団体、337人から回答をいただきました。加えて、福祉部で実施した子育て世代のアンケートの意見も参考にしました。

アンケートの意見は、分野別に整理した上で、各部会で課題と方策を話し合いました。その結果、部会から提案された具体的な取り組みを出し合い、協議してとりまとめたのが、本計画です。

約2年半の話し合いの中で、自然環境に恵まれ、植木産業で栄えた長尾地区のまちづくりは、やはり「緑」を大切にしたいということが共有されました。また、まちづくり協議会では、今後、「情報収集や情報発信」「各団体間の調整」などの役割が重要になることも、繰り返し議論されました。

【現状と課題】

長尾地区まちづくり協議会（ふれあいコミュニティ長尾）は、3つの小学校を抱える広い地域を活動区域としています。

地域の現状をみると、長尾地区では、農地の宅地化が進み、田畠が減って住宅が増えています。そのため、流入人口が増加し、子どもの数も増えており、他地区に比べて高齢化率が低く、若い世代が多いのが特徴です。

一方で、都市基盤の整備が追いつかず、道路の交通渋滞などが課題になっています。また、近年、地震や台風などの災害が増える中、斜面丘陵地など災害リスクの高いエリアもあります。

長尾地区まちづくり協議会は、平成8年の設立以来、多方面にわたる組織や、地域住民から選出された約150名の役員・委員を中心となり、各部会・各委員会で毎年計画や目標を立て、多くの方が参加するイベントや講習会、ふれあいきいきサロンなどを活発に行ってきました。

しかし、まちづくり協議会は、まだまだ知られていません。広報誌やブログ等で広報活動をしていますが、まちづくり協議会の活動は、なかなか伝わらず、浸透していません。また、まちづくり協議会の活動を進める上で大切な役員・委員の担い手が少なく、ベテラン・中堅・若手の連携を取りながら、次の世代にスムーズに引き継いでいくのが難しい現状があります。

今後は、こうした課題を解決するために、取り組みをしていく必要があります。

【まち地域の将来像】

「緑と夢と人」次世代につなげるまち・長尾

【基本目標】

「自然・環境」

大切な自然を守り、人にやさしい環境のまち

「産業・歴史」

接ぎ木を含めた園芸産業を地域の財産として市内外に発信するまち

「福祉・健康」

健康寿命を延ばし、みんなが生き生きと生活できるまち

「青少年・人権」

地域の各種団体がより連携し、誰もがわかりあえるまち

「防災・防犯」

災害時に助け合える人のつながりがあるまち

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継 続	新 規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20 年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
					21 年	22 年	23 年	24 年	25 年					
1 自然・環境	ア ゴミ等で汚い河川・排水溝・道路・公園・空地等の清掃を継続する	○							→			○		犬の糞やごみのポイ捨てをなくす、資源の分別などゴミ出しルールの徹底など
	イ 天神川、最明寺川等の堤防、散策路等の整備及び水質浄化を促進する	○							→			○		
	ウ 地域住民参加型の地区全体の緑化を促進する	○							→			○		
	エ 公共施設や空き家など今あるものを利活用して、各校区に子ども達の拠点(居場所)をつくる		○						→			○		
2 産業・歴史	ア 長尾の園芸巡礼街道のまちあるきコースをつくり、案内人を育成して、広報する		○						→			○		
	イ だんじりや盆踊りなどの祭や伝統を維持継承する		○						→			○		
	ウ 植木祭を盛り上げる		○						→			○		長尾の産業として充実していく
	エ 接ぎ木の技法を知らせ、伝えいく		○						→			○		伝承者を育成する必要がある

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考
				20年	第6次総計				①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年					
4 福祉・健康	ア 子どもや高齢者の見守りを大切にし、地区住民のふれあいを促進する	○							○				
	イ 百歳体操や健康教室などの場作りや情報提供をする		○						○				
	ウ 障碍や、世代をこえて交流できる場をつくり、そのために必要な情報を提供する	○								○			
	エ 子育てに関する、地元（長尾）の支援情報を収集し、発信する	○							○				
	オ きめ細かな支え合いの地域作りに取り組む	○								○			
	カ 喫煙マナー向上への啓発運動を促進する	○							○				
4 青少年・人権	ア 学校と地域住民の連携を強化し、小中学生の非行防止など健全育成に取り組む	○								○			
	イ 人権意識の向上をめざし、啓発活動を行う	○							○				
	ウ アトム110番やPTAの見守りプロジェクトを充実するなど、地域全体で学童を見守る目を増やしていく	○							○				

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年	25年					
5 防災・防犯	ア 地区防災計画を作成する		○		→					○				
	イ 計画に基づいて長尾・長尾南・丸橋小学校区の防災活動を進める	○			→					○				
	ウ 道路通行時の“人”優先モデル地区への啓発運動を促進する		○		→					○				
	エ 通学路の安全対策をする（グリーンベルト整備や防犯カメラ設置、パトロールなど）	○			→						○			
	オ 交通安全教室を継続する	○			→						○			

【いきいき百歳体操】

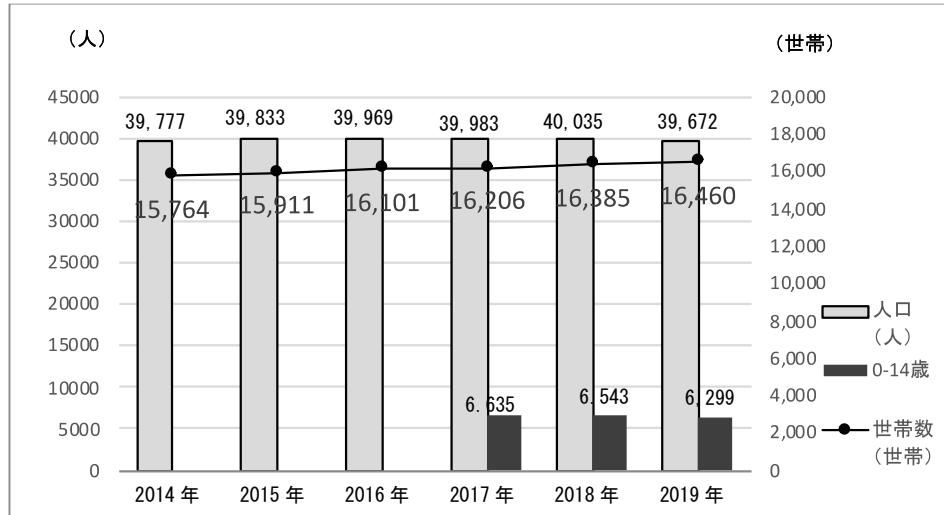


【いらっしゃいませ倶楽部+バリアフリーサロン】

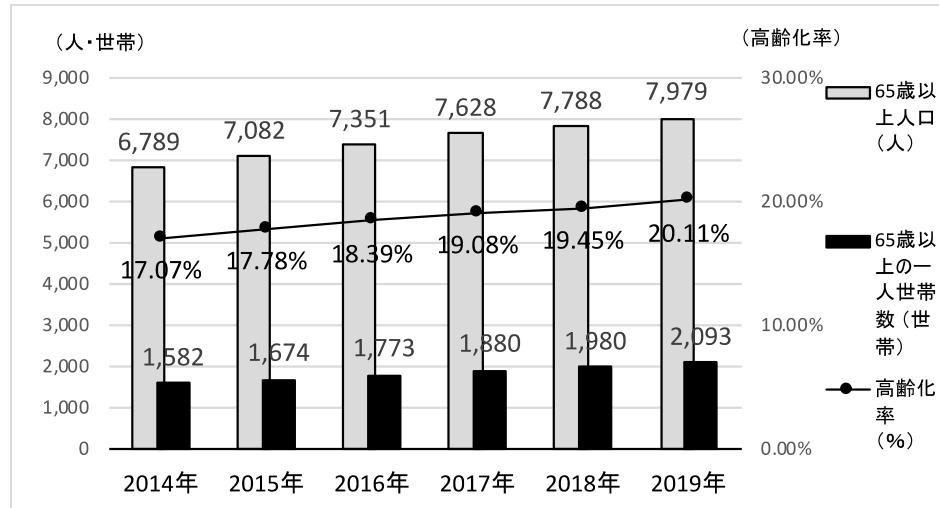


【資料編】

●人口・世帯数の推移



●高齢者の推移

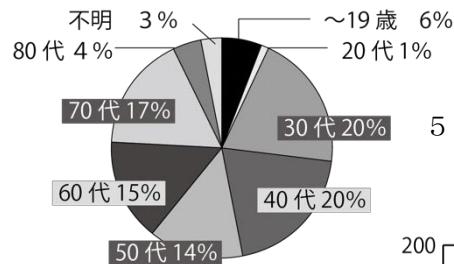


(1) まちづくりアンケートの概要と主な意見

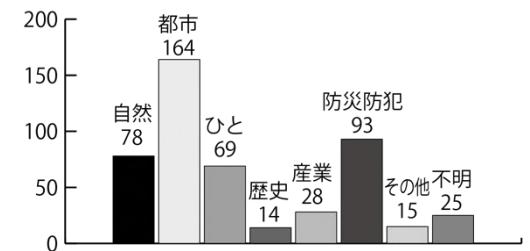
長尾地区まちづくりアンケート概要

- 実施時期 2018年8月～9月
- 回答数 337 (地域団体や事業所など73団体および個人)
(子育てアンケートから抜粋意見52を含む)
- 質問内容
 - あなたのまちで「気になること」「困っていること」は何ですか? (自然、都市、ひと、歴史、産業、防災防犯、その他の分野別に回答)
 - あなたのまちの特徴や自慢できることは何ですか? 地域の活動や場所など、どんなことでも結構ですので、ご紹介ください。
 - その他、あなたが考えるまちづくりについて、自由にお書きください。

4. 回答者の年齢層



5. 分野別意見数(複数回答有)



主な意見（分野別）

【自然環境分野】

(1)ごみ問題

<課題>

- ・川、水路、公園、道路、田んぼ、コンビニまわりなどのポイ捨て
- ・資源ごみの抜き取り
- ・ごみ出しのマナー

- ・カラス、アライグマ、野良猫、野良犬がごみを荒らす

<良いところ>

- ・ごみが少なく近所の仲がとてもよい

(2)ペットの問題

<まちづくりへの意見>

- ・犬の運動公園には賛否両論なので意識調査が必要

(3)自然環境

<課題>

- ・緑や田畠の減少。（山手の宅地開発）
- ・水質変化で河川の生き物がいなくなったり
- ・魚が住む最明寺川に

<良いところ>

- ・緑がたくさんある
- ・ほどよく田舎、ほどよく都会
- ・自然が豊かなので、遊歩道など整備しジョギング、ウォーキング

<まちづくりへの意見>

- ・川で遊べる環境づくり
- ・野菜の販売支援など、農業人口増加支援

(4)公園

<課題>

- ・緑の多い公園がほしい
- ・公園が草ぼうぼう
- ・口谷第2公園がさびれた
- ・遊具がない
- ・狭い
- ・犬の糞
- ・駐車場がほしい
- ・ボール遊びができない
- ・メンテナンス（雑草）
- ・雨でも遊べる公園

(5)道路の整備

<課題>

- ・街灯が少ない
- ・信号のタイミングが悪い
- ・傾き、道路が狭い、渋滞
- ・駅前、コープ前の迷惑駐輪

(6)歩道の整備

<課題>

- ・道が狭い
- ・点字ブロックが少ない
- ・歩道がガタガタ傾いている
- ・表示や標識のメンテナンス不備
- ・植木等がはみだしている

(7)交通アクセス

<課題>

- ・駅前、コープ前の迷惑駐輪
- ・バス便が少ない
- ・コミュニティバスがほしい

【産業歴史】

(1)植木産業

<課題>

- ・植木の歴史について知る機会が少ない
- ・自分の住むまちの歴史を知りたい
- ・伝統的な秋祭り等行事の継続が難しい
- ・植木屋さんが少なくなり、後継者がいない

<良いところ>

- ・地域の行事がある。地域独自の伝統文化の行事が多い
- ・盆踊り、餅つき、地車など地域の活動が活発で資金面においても完結している

<まちづくりへの意見>

- ・親世代が地域行事に参加して地域を知ることが大事
- ・木接太夫を一過性のものにせず、市民にアピールする

(2)まちづくり

<課題>

- ・住宅開発の問題、景観
- ・自治会加入者が少ない
- ・まち協の活動がよくわからない。疑問に思う
- ・まち協が知られていない。
- ・役割や組織を見直す。
- ・地域活動の広報を強化する。

- ・まちづくりに市民の意見を聴く

- ・地域組織のつながり、情報共有

<まちづくりへの意見>

- ・誰もが自治会に入る
- ・囲碁のまち、バトミントンのまちなど個性を
- ・山本は弓を作っていたので、弓をいかしたまちづくり
- ・インスタ映えするまちに。

【福祉・健康】

(1)子育て支援の充実

<課題>

- ・病児保育や一時保育の不足
- ・産婦人科や小児科の不足
- ・子育て関連情報へのアクセス

<まちづくりへの意見>

- ・まち全体で子どもを見守る

(2)住民の交流

<課題>

- ・新旧住民の交流
- ・異世代、多世代の交流
- ・若者のまちづくりへの参加（中高生と地域コミュニティの交流）

(3)福祉課題や人権の理解

<課題>

- ・気軽な助け合い
- ・サロンの充実
- ・人権の啓発

<良いところ>

- ・人がやさしい
 - ・明るく地域団体が結束している
- ＜まちづくりへの意見＞
- ・スタッフが他のサロンを見学できる

(4)バリアフリー

- ＜まちづくりへの意見＞
- ・移動の保障
 - ・障がいがあっても、仕事ができる買い物が便利
 - ・字幕つきの映画館がある

(5)健康作り

- ＜良いところ＞
- ・自然が豊かなので遊歩道などでジョギング、ウォーキング
- ＜まちづくりへの意見＞
- ・健康寿命を延ばす

【青少年・人権】

(1)青少年の見守り

- ＜課題＞
- ・アトム 110 番増設と老朽化した看板の張り替え
- ＜良いところ＞
- ・通学路のパトロールが活発

(2)学校との連携

- ＜まちづくりへの意見＞
- ・学校図書館を活用し、小学校だけでなく中学校も住民に開放を

【防災・防犯】

(1)安全

- ＜課題＞
- ・自転車や自動車、とくに通学路の運転マナーが悪い。
 - ・グリーンベルトがわかりにくい
 - ・横断歩道付近などで街路樹の剪定ができるおらず見通しが悪い。
 - ・街路灯が少ない
 - ・防犯カメラがほしい
 - ・細街路の整備他（ガード、ふたのない溝など危ない）
 - ・不審者がいる

＜良いところ＞

- ・まち協地区内では交通事故犯罪の発生も少なく安全である
- ・交通事故、犯罪、災害事例が比較的少ない

＜まちづくりへの意見＞

- ・地区の見守り組織再編

(2)空き家対策

＜課題＞

- ・空き家の木が道にはみだしている
- ・地震時のブロック、崖、壁

(3)防災訓練

＜課題＞

- ・意識啓発が必要
- ・体育館のスペース配分や仮設トイレ

＜まちづくりへの意見＞

- ・近郊での防災リーダー養成講座開催を

（2）部会・委員会での主な意見

【長尾小、長尾南小、丸橋小地区委員会】

- ・長尾小学校西側道路、丸橋郵便局前交差点付近、山本変電所付近等通学路の危険箇所が多くグリーンベルト設置などで安全の確保が必要
- ・狭い道路でもグリーンベルトは安全確保の効果はかなりある
- ・都市開発と抜け道による交通量の増加と、マナー低下による危険箇所増加
- ・自転車走行時のスマホ使用や並走運転で通行時の事故発生につながる可能性がある
- ・集落内には幅員の狭い道路が多く特に注意が必要
- ・学校応援団等の活躍で見守りボランティアが多い
- ・長尾小学校区の生徒数が多いため、区割り変更の検討が必要か
- ・とんど祭りや防災訓練など学校行事への地域からの参加が比較的多く交流がある
- ・地域行事への親の積極的な参加により子供の参加も増加する
- ・校区内に放課後安全に遊べる児童館のような場所が少ない
- ・遊具の有る公園が少ない
- ・公立の3年保育の希望が多いが長尾幼稚園しかなく、長尾南幼稚園の閉園予定もある
- ・まち全体での子供見守りが必要だが、声かけ時に不審者との違いが困難な場合がある
- ・安全な公園が有り、保育園からの遊び場所にもなっている
- ・近隣に自然が多く四季を感じられる
- ・自然が多くあり、歴史、文化を大切に守り承継する機運が各地で見受けられる

【花緑環境部会】

- ・手入れができるていない樹木のはみだしは、自治会で対応するか市にお願いするしかない
- ・大きくはみだしているとごみの回収車が通れないため市から話してもらうことになる
- ・道路が狭いと回収車がごみをふんでしまうことがある
- ・当番が清掃しているが、ごみが他地区から持ち込まれて投棄されたり資源ごみの抜き取りがある
- ・手入れが行き届いていない公園にはごみが多い
- ・アンケートでは、ルールや現状を知らない人が書いた意見や要望もあるので周知が必要

【健康づくり部会】

- ・健康作り教室は定着してきたが、スタッフが不足している
- ・県の健康増進プログラムを活用しているが、なくなる可能性があるため別の内容を検討する必要がある
- ・健康づくりに取り組む人はいろいろ活動しているので、まち協は啓発に取り組むべき
- ・公園に健康遊具を設置して活用できるよう要望する
- ・かかりつけ医のメリットを知らせていく
- ・買い物難民にならないために手軽にどこでも健康作りをする
- ・長尾のまちの環境を利用した健康作りをすすめる

【福祉部会】

- ・日頃仕事で参加できない人も参加できるような交流の場づくり
- ・高齢者中心のサロンを子どもが利用できるように工夫できないか
- ・若い人の活動が増えてきたので、それを支える環境づくり
- ・引きこもりがちな人とも交流ができるきっかけを
- ・居場所づくりにはまち協や社会福祉協議会等の仕組みづくりが必要
- ・長尾は子どもが多いが、現行計画には非行についてしかふれていないので、子育て支援の充実策を入れるべき
- ・子どもが集まる場が少ない
- ・高齢者の取り組みは充実してきたが、障害者の取り組みがまだ少ない
- ・まち協で地域活動全体を把握することが必要
- ・福祉に関わる活動者の交流会があるとよい
- ・基本目標に、障害者支援と子育て支援を追加したい
- ・ひとにやさしいと言いがたい現状のため、将来はそうなるようにする

【青少年部会】

- ・広報の課題がある。行事があっても知られていないので参加につながらない
- ・掲示板などでは伝わっていない
- ・丸橋は地域の南端にあるため、良い企画をしても足を運んでもらいにくいため会場が狭いので収容人数が限られている
- ・PTA（育友会）は親と教師だけでなく地域全体で子どもにかかわろうという主旨の組織だが、そのことが理解されていない
- ・PTA（育友会）の役が終わった後もまち協やまちづくりの活動は継続してほしい
- ・水やりや犬の散歩の「ついで」に子どもを見守る活動を始めている
- ・子ども達の居場所が必要
- ・共働きの親も地域活動に参加できるよう工夫して地域との接点をつくる
- ・土日にサロンがほしいという声もある
- ・交通安全教育は継続が必要。子ども達の意識が重要

【防災防犯部会】

- ・防犯カメラは増設してほしい
- ・道路の安全確保は、ハードの整備と安全教室などソフトと両面必要
- ・自転車専用道路の実現
- ・グリーンベルトは有効なので設置したい
- ・歩行者ファーストのキャンペーン。運転者のマナー向上のためにステッカー作成など
- ・ミニ開発が多すぎる
- ・見守りの対象は子どもだけではなく、高齢者も視野に入れたい
- ・他市では黄色いハンカチで安否確認している例がある
- ・街灯をブルーにすると安全が高まる
- ・空き家情報を把握することが重要

(3) 会議の記録と概要

2018年		
	7月12日	コアメンバー打ち合わせ
第1回	8月6日	オリエンテーション。 スケジュールの確認と地域カルテで現状把握 アンケート案の検討
第2回	8月21日	アンケートの質問内容、配付や実施方法の検討
第3回	10月16日	アンケート集計の経過報告 今後の検討の進め方について協議
第4回	11月20日	アンケート意見の整理 自然、都市、ひと、歴史と産業、防災防犯の分野別
第5回	12月19日	アンケート意見の検討 福祉、花緑環境、青少年、健康作り、防災防犯、 小地区委員会に意見を振り分け
2019年		
	1月23日	小地区委員会
	1月25日	健康づくり推進部会
	2月2日	花緑環境部会
	2月17日	福祉部会
	2月19日	青少年部会
	3月14日	防災防犯部会
第6回	3月18日	新しい計画は「自然・環境」「産業・歴史」「福祉・ 健康」「青少年・人権」「防災・防犯」の5分野に 再編し、具体的な取り組みをまとめていくこと に
第7回	4月19日	地域の将来像と、部会で出た意見から具体的な 取り組み案を分野別に振り分けて整理
第8回	5月13日	地域の将来像、基本目標の検討

第9回	6月10日	具体的な取り組みの検討
第10回	7月19日	具体的な取り組みの検討
第11回	8月20日	具体的な取り組みの検討
第12回	9月11日	はじめに、現状と課題等の検討、意見募集につい て協議
	10月	素案を配布し、意見募集
第13回	10月15日	計画書のまとめ方の検討
第14回	10月30日	意見交換会の開催と意見の検討
第15回	11月19日	あとがきの検討など
2020年		
第16回	2月18日	計画案の最終確認と今後の計画の進め方につい て検討



(4) 委員名簿

会 長	久保田 久男
計 画 見 直 し 委 員 長	阪 上 雅 信
長 尾 小 学 校 区 委 員 長	阪 上 良 彦
長 尾 南 小 学 校 区 委 員 長	阪 上 弥 須 彦
広 報 部 会 長 兼 任	
丸 橋 小 学 校 区 委 員 長	中 川 以 良
福 祉 部 会 長	大 芝 自 子
花・緑・環 境 部 会 長	畠 中 正 弘
健 康 づ く り 部 会 長	阪 上 新 一
青 少 年 部 会 長	塘 緑
防 災 ・ 防 犯 部 会 長	金 岡 良 充
事 務 局	高 井 美 智 子
宝 塚 市 社 会 福 祉 協 議 会	太 田 昌 憲
宝 塚 市 地 域 自 治 推 進 担 当 次 長	小 川 清 次



【ふれあいフェスタ】

【あとがき】

今回、まちづくり計画見直しを行うにあたり多くの方々にご協力を頂きありがとうございました。

300名以上の住民アンケートにより、このまちの現状や素晴らしいところに改めて気づかされ、そして皆さまがこのまちへの想いや夢を持っておられることがよく分かりました。

まちづくり協議会が発足してから24年が経ち、環境も大きく変わるもの「人のつながり」がより一層大切になってきています。

今後も、住民と行政が一体となり今回のまちづくり計画を、どう実現していくか、つねに進捗状況を検証し「まちづくりのたすき」を次の世代につなげられるよう、皆さんと共に進めていきたいと思っています。

大好きなまち『長尾』



【すずめサロン】

